

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公表番号】特表 2018-526112 (P2018-526112A)

【公表日】平成 30 年 9 月 13 日 (2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-035

【出願番号】特願 2018-511425 (P2018-511425)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 27 日 (2019.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外科的処置のためのアクセス装置であって、

a) 管状の細長い本体部分を備え、これは、

長手方向軸を画定し、

患者の体管腔の天然の開口部を通して又は腹腔の壁に形成された単一の切開を通して導入するよう構成され、

b) 多ポートの端部キャップを備え、これは、

管状の前記本体部分の近位の端部分と連繋して動作し、

個々の外科用器具を前記患者の前記体管腔又は腹腔のなかへ導入できるようにするため、独立した複数のアクセスポートを含み、

c) 結合器を備え、これは、

多ポートの前記端部キャップを管状の前記本体部分の近位の端部分に連結して動作させ、

前記結合器は、

管状の前記本体部分にあるラチェット環と、

多ポートの前記端部キャップにあるラッチ組み立て体と  
を含み、

前記ラッチ組み立て体は、向かい合ったラッチを含み、これはそれぞれ、径方向内側へ向けて面した歯を伴う半円形部分を有し、これが前記ラチェット環と対合して、多ポートの前記端部キャップが管状の前記本体部分に対して軸回転するのを防止し、前記ラッチが径方向内側へ向けて圧縮したとき、前記ラチェット環から解放して、多ポートの前記端部キャップが管状の前記本体部分に対して軸回転できる、  
アクセス装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、

前記結合器は、円形本体を含み、これは、多ポートの前記端部キャップと連繋し、前記ラチェット環を取り囲む、  
アクセス装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
前記ラッチはそれぞれ、平行な延長部を有し、これは、その前記半円形部分から延び、  
前記円形本体にある向かい合った細穴に係合するよう構成されている、  
アクセス装置。

【請求項 4】

請求項 3 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
前記結合器は、ばね負荷されたボタンを含み、これは、前記ラッチと連繋して、前記ラ  
ッチの前記半円形部分を径方向内側へ向けて選択的に圧縮させる、  
アクセス装置。

【請求項 5】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
管状の細長い前記本体部分は、腹腔鏡創傷保護具である、  
アクセス装置。

【請求項 6】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
前記結合器は、  
加圧された気体ラインのための連結具と、  
圧力感知ラインのための連結具と  
を含む、アクセス装置。

【請求項 7】

請求項 6 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
管状の前記本体部分は、前記圧力感知ラインからその底部の表面を通して延びた管腔を  
含む、  
アクセス装置。

【請求項 8】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
前記端部キャップは、加圧された気体ラインのための連結具を含み、  
管状の前記本体部分は、圧力感知ラインのための連結具を含む、  
アクセス装置。

【請求項 9】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
封止組み立て体が、前記端部キャップの前記アクセスポートのそれぞれと連繋して動作  
する、  
アクセス装置。

【請求項 10】

請求項 9 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
それぞれの封止組み立て体は、主開口部封止体と、二次ダックビル封止体とを含む、  
アクセス装置。

【請求項 11】

請求項 9 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
それぞれの封止組み立て体は、それぞれのアクセスポートのなかで外部保定機構を用い  
て固定されている、  
アクセス装置。

【請求項 12】

請求項 11 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
前記保定機構は、  
鉤と、ラチェット歯と、ピン及び穴と、ピン及び細穴と、I 型梁と、引きねじり結束具  
とからなる群から選択される係止機構を含む、  
アクセス装置。

【請求項 13】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
多ポートの前記端部キャップは、套管針ポートを含む、  
アクセス装置。

【請求項 1 4】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
多ポートの前記端部キャップは、そこを貫く前記外科用器具を固定するよう構成された  
編み層を含む、  
アクセス装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、更に、  
多ポートの前記端部キャップを管状の前記本体部分に係合する組み立て補助具  
を備える、アクセス装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 記載の外科的処置のためのアクセス装置において、  
管状の前記本体部分は、長さが調節可能である、  
アクセス装置。

【請求項 1 7】

多ポートの外科的アクセス装置において、  
a) 管状本体と、  
b) 複数のアクセスポートを含む端部キャップと、  
c) 前記管状本体にあるラチェット環と、前記端部キャップにあるラッチ組み立て体と  
を含み、前記端部キャップを前記管状本体に連結する結合器と  
を備え、

前記ラッチ組み立て体は、向かい合ったラッチを含み、これはそれぞれ内側へ向けて面  
した歯を伴う半円形部分を有し、これが前記ラチェット環と対合して、前記端部キャップ  
が前記管状本体に対して回転するのを防止し、前記ラッチが内側へ向けて圧縮したとき、  
前記ラチェット環から解放して、前記端部キャップが前記管状本体に対して回転できる、  
外科的アクセス装置。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 記載の多ポートの外科的アクセス装置において、  
前記結合器は、円形本体を含み、これは、前記端部キャップと連繋し、前記ラチェット  
環を取り囲む、  
外科的アクセス装置。

【請求項 1 9】

請求項 1 7 記載の多ポートの外科的アクセス装置において、  
前記ラッチはそれぞれ、平行な延長部を有し、これは、その前記半円形部分から延び、  
前記円形本体にある向かい合った細穴に係合するよう構成されている、  
外科的アクセス装置。

【請求項 2 0】

請求項 1 7 記載の多ポートの外科的アクセス装置において、  
前記結合器は、ばね負荷されたボタンを含み、これは、前記ラッチと連繋して、前記ラ  
ッチの前記半円形部分を内側へ向けて選択的に圧縮させる、  
外科的アクセス装置。

【請求項 2 1】

請求項 1 7 記載の多ポートの外科的アクセス装置において、  
封止組み立て体が、前記端部キャップの前記アクセスポートのそれぞれと連繋している  
、  
外科的アクセス装置。

【請求項 2 2】

請求項 2 1 記載の多ポートの外科的アクセス装置において、

それぞれの封止組み立て体は、主開口部封止体と、二次ダックビル封止体とを含む、外科的アクセス装置。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	<a href="#">JP2018526112A5</a>	公开(公告)日	2019-10-10
申请号	JP2018511425	申请日	2016-08-31
[标]申请(专利权)人(译)	瑟吉奎斯特公司		
[标]发明人	ゼルジーベルアールエム マストリドミニク スターンズラルフ		
发明人	ゼルジーベル,アール エム. マストリ,ドミニク スターンズ,ラルフ		
IPC分类号	A61B17/34		
CPC分类号	A61B17/3423 A61B17/3462 A61B17/3474 A61B2017/00991 A61B2017/3437 A61B2017/3443 A61B2017/3445 A61B2017/3466 A61B17/0293 A61B17/0218 A61M13/003 A61M2205/3331		
FI分类号	A61B17/34		
F-TERM分类号	4C160/FF42 4C160/FF46		
代理人(译)	大川 晃		
优先权	62/212776 2015-09-01 US		
其他公开文献	JP2018526112A JP6634513B2		

#### 摘要(译)

公开了一种用于外科手术的进入装置。这包括一个多端口端盖。它包括多个独立的访问端口。这是为了允许将各个手术器械引入患者的体腔或内腔中。包括一个耦合器。这用于将多端口端盖连接到管状体以进行操作。